

**組織情報倫理：オンラインサービスの開発・利用ならびに普及の組織的・倫理的・社会的側面**

教授 村 田 潔

**1. 研究内容**

当演習室では組織情報倫理学の研究の一環として、各種オンラインサービスの開発・利用ならびに普及がどのような社会問題を引き越しうるのか、またそれに対してどのように対処すべきなのかについて、組織（営利・非営利双方を含む）と倫理・社会・文化の観点からアプローチします。

2021年度から始まるゼミにおいては、情報通信技術・組織経営ならびに高度情報化が進む現代社会で何が起きているのかについての理解を深めるために基本的な文献の輪読を行い、3年生になってからは特定のテーマについて研究プロジェクトを設置し、文献研究、アンケート調査、インタビュー調査などを通じて理解を深めていきます。参考までに、2020年度においては、研究プロジェクトとして、3年生ゼミでは「COVID-19 流行の社会科学的分析：With, after and before corona」を行っており、4年生ゼミでは、「ブロックチェーン技術の応用可能性の解明」に関する調査研究を実施しています。

**2. ゼミの進め方**

《2年次》

輪読および研究プロジェクトの立案。

《3年次》

研究の深化。研究プロジェクトの具体的アウトプット（書籍・論文等）の検討と調査研究。

《4年次》

研究プロジェクトのアウトプット作成。

**3. 教 材**

輪読する文献や研究プロジェクトのテーマについては、受講生と相談して決定します。

**4. 成績評価の方法**

常日頃のゼミへの貢献を成績評価に反映させます。

**5. ゼミ入室試験（選考方法）**

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

**6. その他・志願者へのメッセージなど**

受講生に要求されるものは、旺盛な好奇心と探究心です。常に社会への興味を失わず、積極的にゼミ運営に関わる学生諸君の参加を待っています。学習をするためのツールとして、英語（読む・話す）の能力を熟達させることとICT（情報通信技術）の活用は必須です。英会話については、現在不得手でも構いませんが、継続的に努力してくれることを希望します。

また、ゼミは学生相互の信頼関係や将来にわたる人間関係の形成の場でもあります。したがって、原則として欠席・遅刻は禁止です。無断欠席をした場合や、遅刻が続く場合は除ゼミの対象となります。

春休みに行われるゼミ合宿や、愛媛大学・富山大学との合同ゼミなどのイベントもあり、国内および海外の大学生・研究者との交流の機会も設けたいと考えています。例年3月には、スペインのタラゴナにある Rovira i Virgili 大学でのゼミ合宿（英語で討論）を実施します。したがって、集団で活動を行う際の最低限のマナーをわきまえた学生の参加を希望します。

なお、交換留学生を受け入れることもあります。その場合は、日本語と英語の両方を使ってゼミを運営します。